

(参考)京都市生産性向上・人手不足対策事業費補助金 勉強会・ワークショップ事業 実務家等の講師リスト

No.	大分類	業種	企業名	取り組みテーマ	労働生産性向上の事例
1	製造業	非鉄金属製造業	ヒエン電工 株式会社	分散機導入による難燃性と接着性を併せ持つ難燃性接着剤、及び導電性と接着性の機能を併せ持つ導電性接着剤の生産性向上の実現	大量生産時にも、従来と同じ品質・性能を実現する標準化と、大量生産による生産性向上とコストダウンによる価格競争力を向上させた。
2	製造業	金属製品製造業	株式会社 ガルーダ精工	マシニングセンタ導入による自動車部品加工用特殊工具部品の高品質・短納期確立	非常に難易度の高い加工を分業で担当していたが熟練作業者の高齢化のリスク回避のため顧客より、加工技術を承継、一貫生産することを受諾。技術承継を機会に生産効率の向上と多能工化を図るべくマシニングセンターでの加工に切り替え、一貫加工が可能となった。熟練者が行っていた微妙な作業は自社内での非熟練作業員による一貫加工が可能になった。
3	食品製造	食品製造業	株式会社 上尾製菓	京和菓子の一貫生産能力を活かした小ロットOEM受注体制の構築	京和菓子の小ロットOEMの受注拡大を行ううえで、手作業が中心のため、製造ラインの一部を機械化することにより、余裕人員を手作業ラインへ配置転換を行うことで生産向上を図った。
4	製造業	金属製品製造業	株式会社 波多野製作所	電気自動車向け新規試作品による販路の拡大	受注の50%超の製造シェアを占める自動車産業界の中でも電気自動車向けの軽量・超短寸ねしの製造可能な設備を導入。需要に対する供給を意識した労働生産性の向上に取り組んだ。
5	製造業	はん用機械器具製造業	NKE 株式会社	京くみひもを利用した高効率空気圧人工筋肉駆動アシストロボットの開発	需要に対応した生産性向上に資する取組み、空気圧人工筋肉の性能向上・細径化を行い、衣服感覚で着用可能でスタイリッシュなパワーアシストロボットの試作と評価を実施した。
6	製造業	はん用機械器具製造業	株式会社 衣川シャーリング	社内データベース活用による一貫製造技術の高度化事業	①CADデータを使ったリードタイム短縮②多量製品の受注獲得③曲げ加工限界見極め、曲げ加工技術の形式知化(加工技術を形式知化)を実施、ペンディングマシンの導入、社内ネットワーク化により、設備能力を向上させ、外注高精度化、高効率化を目指した。
7	繊維染色	繊維工業	株式会社 京都紋付	京黒紋付染の技術を活用し衣類を黒く染め直して価値を上げる「KURO FINE」プロジェクト	受注システムを導入し製品情報(素材、重量、アイテム名)を消費者から事前に入手することで、適切な仕分けを可能にし、脱水工程の品質管理が向上したため、職人が絞る際に与えていた衣類への負担が大幅に軽減された。発色ムラもなくなり、約92%だった歩留率がほぼ100%まで向上した。染色工程と脱水工程の作業時間が大幅に削減され、コスト削減、収益力、生産性の向上に繋がった。
8	製造業	機械器具設置業・電気工事業・管工業	株式会社 マイギ	電気計装分野における3Dレーザーキャナ導入による事業効率の向上	電気計装分野における手作業による現地寸法計測を、3Dレーザーキャナと3Dキャットの導入により安全、短納期、高精度の図面作製技術を構築した。また、点群データを自動編集する専用ソフトを用い、編集作業の短縮、高効率化を図った。
9	サービス業	技術サービス業	株式会社 エムアールサポート	クラック、わだち、切削量のポリウム調査および縦横断調査のワンストップ化計画	「調査対象道路を持ち帰りオフィスで測量できる」ようになった。欲しくなる「全部」の情報が予め計測されており手戻りや補足なしに「全部出来る」ようになった。また、大幅な精度向上と特に現場作業が大幅に効率化され、さらには障がい者も働けるダイバーシティインクルージョンの実現にも繋がった。
10	卸売・小売	各種商品卸売業	大橋商事 株式会社	既存製品の増産とECサイトによるブランド内加工品自社販売への挑戦	ギフト需要などが好調だったため、加工食品事業に参入、生産性を向上させ、生産能力拡大を可能にする設備投資を実施した。高速スライサーとX線検査機を導入し、これまでの5倍、年間30万パックの加工能力を確保することができ、生産性の大幅な向上を実現した。
11	製造業	その他製造業	株式会社 鐵工社ブル	NC加工機導入による、生産力向上、短納期化、技術継承の解決	サイレンサー製作のため、NC機械の導入を行い、生産量の増量・リードタイム短縮・短納期化・若手作業員への技術移転を実現した。
12	サービス業	情報系/生活系/エレクトロニクス系事業	TOPPAN株式会社	「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」3事業分野のコラボレーションによるトータルソリューションで、社会の課題解決	情報コミュニケーション「生活・産業」「エレクトロニクス」の3つに分けられます。TOPPANの強みである「印刷テクノロジー」をベースに、それぞれの事業分野は発展、多角化してきました。多様な課題への対応が求められる現代において、3事業分野のコラボレーションによるトータルソリューションを提供することで、多くのお客さまや社会の課題解決

※異業種の取組事例を参考とするため、上記講師リストに記載されている企業等に勉強会・ワークショップ等の講師として依頼する場合は、京都市中小企業団体中央会(電話:075-708-3701)にお問い合わせください。

※上記講師リストに記載されている企業等への直接の連絡はお控えください。